

Ⅱ 結果の詳細

1 教科に関する調査

1 教科に関する調査

(1) 小学校国語

① 調査区分ごとに見た傾向

平均正答率

平均正答率は、全国に比べ 0.8 ポイント低い。

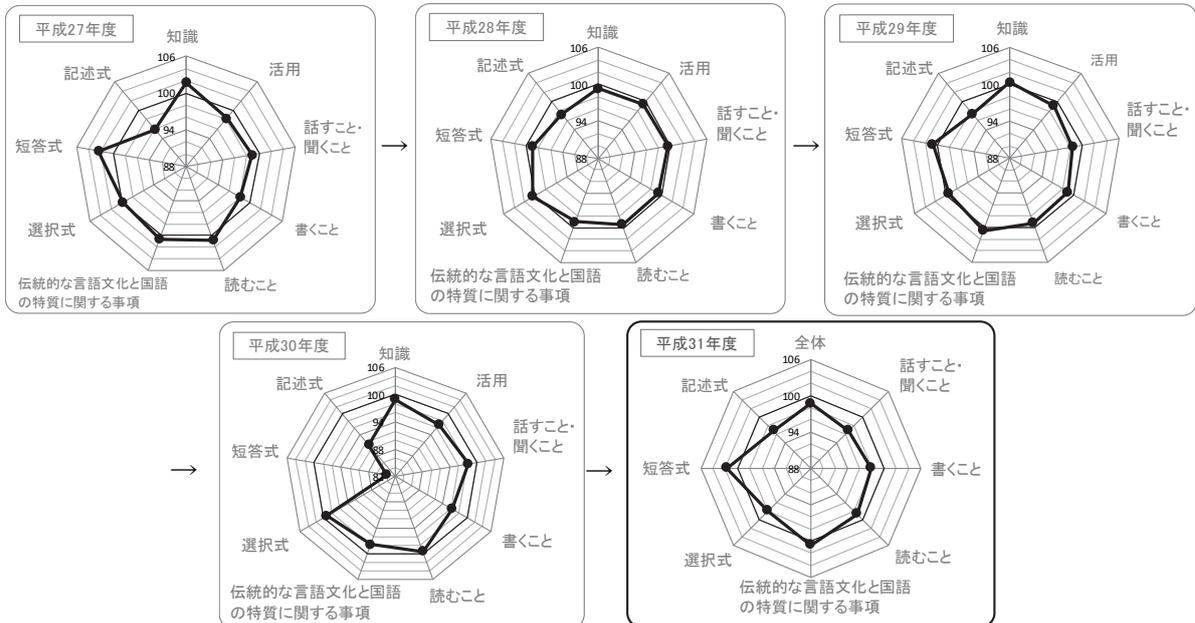
領域等

全国を 100 とした時の指数に比べ、「話すこと・聞くこと」は 3.3 ポイント低く、「書くこと」は 2.2 ポイント、「読むこと」は 1.3 ポイント低い。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は 0.7 ポイント高く、昨年度より 2.8 ポイント上昇した。

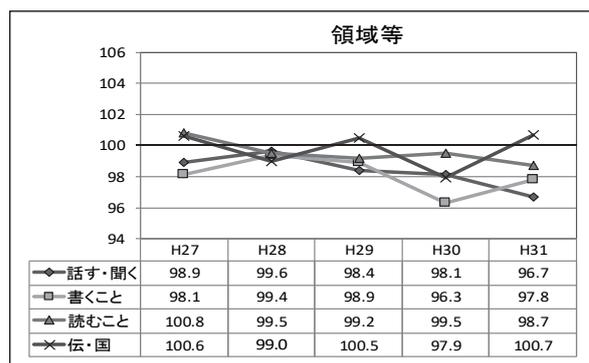
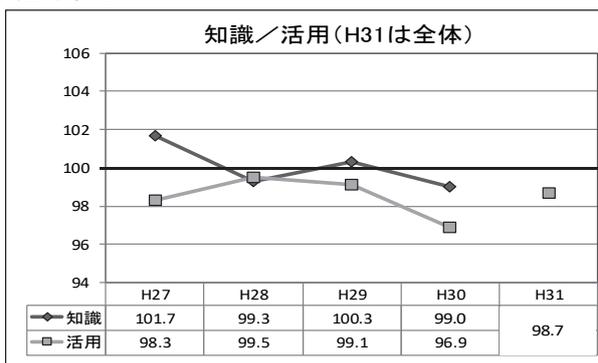
問題形式

指数では、「選択式」「記述式」が低い状況であるが、「記述式」は昨年度より 5.7 ポイント上昇した。

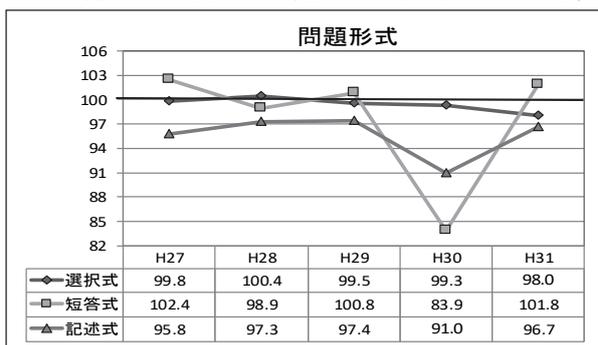
○チャートグラフ



○経年変化グラフ



※平成31年度より知識と活用が一体化されたため、独立して示している。



② 成果と課題

全体的な状況	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は指数で昨年度より2.8ポイント、「記述式」はより5.7ポイント上昇した。 ◇ 児童質問紙で、「国語の勉強は大切だ」「学習したことは将来役に立つ」と肯定的に回答した児童の割合は9割を超え、関心の高さを示している。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く設問は、全国的に正答率が5割に満たない中で、さらに、本県は全国より低く、無解答率も全国より高い。昨年度に課題が見られた主語・述語の照応とあわせて、文の構成の理解は継続的課題である。 ◆ 目的に応じて話すことや聞くことに課題がある。

話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることについては、相当数の児童が理解できている【3一】。 ◆ 上記【3一】のように目的が明確に与えられていれば理解できるが、目的に応じて質問を工夫することは、課題である【3二】。自分はどのような情報を求めているのかを明確にし、あらかじめ用意した質問を予定した順序で聞くだけでなく、話の展開に沿って、目的に応じた質問ができるように指導することが大切である。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 図表やグラフなどを用いた目的を捉えることは、過去の同趣旨問題に比べておおむね理解できており、無解答率も非常に低い【1一】。 ◆ 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることに課題がある【1二】。どのように書くと相手に伝わりやすいか、なぜその表現がふさわしいのかなど、適切な記述の仕方を考えるように習慣付けることが大切である。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読むことができている【2一（1）】。何のために、何を知りたいのか、どのような情報が必要なのかなど、目的を明確にして読むことや、目的に照らして、自分の考えと関係付けて読むことができるように指導することが大切である。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。 ・「調査のたいしょう」【1四（1）ア】・「かんしんをもってもらいたい」【ウ】。 ◆ 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある【1四（2）】。一文の長さを意識して文を書くことや、自分が書いた文を読み返し、接続語を使って複数の文に分けて書き直したことで、伝えたいことがより明確になったという実感をもつことができるように指導することも大切である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童質問紙において、【4 0】「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に対する肯定的回答の割合は9割に達している。【4 1】「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しよう」とする態度（千葉76.3%、全国76.9%）に一層つながっていくことが望まれる。 ◆ 【4 4】「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか」（千葉68.2%、全国71.4%）について、肯定的な回答の割合は全国に比べて低い。読むときの着眼点や接続語の機能、文章の構成などの指導を通して、【4 2】「目的に応じて、自分の考えを話したり書いたり」（千葉75.7%、全国78.1%）する場面に生かせるように指導することが大切である。

③ 各設問の結果

(凡例)

- [出題の趣旨]
「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」 過去の調査と同一の問題
- [領域等] 学習指導要領の領域等
「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと
「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
- [評価の観点]
「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力
「書」 書く能力 「読」 読む能力
「言」 言語についての知識・理解・技能
- [問題形式]
「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式

■ : 全国を下回るもの
△ (良好) : 全国との差3.0ポイント以上
▼ (課題あり) : 全国との差3.0ポイント以上

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	〔参考〕		問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
							〔知識〕に関する問題	〔活用〕に関する問題		千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差		
1	一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で(資料2)と(資料3)をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	課題改善	書	5・6	書	○	○	選	69.8	-1.4	0.8	0.3	
											49.9	-1.5	7.7	1.0	
											63.1	-1.1	8.8	1.1	
	二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	書	5・6	書	○	○	選	62.2	-1.2	7.6	1.7		
	三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の空欄に、「2調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	書	5・6	関・書		○	記	28.0	-0.8	4.6	0.8		
四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の傍線部アを漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	同一	伝	5・6	言	○	○	短	38.4	-3.5	▼	9.7	1.5	
			H29 A7(1)							41.0	-1.0		11.5	0.9	
四(1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の傍線部イを漢字を使って書き直す(友達にかぎらず)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う		伝	5・6	言	○	○	短	76.4	7.0	△	8.7	-3.4	△

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	(参考)		問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
							「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差
							○	○					
1	四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の傍線部ウを漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	伝	5・6	言	○	○	短	37.1	1.5	5.4	0.5
	四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の囲み部分の中の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	伝	3・4	言	○	○	短	46.6	-1.2	13.0	1.7
2	一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の空欄アに入る、疑問に思ったことの①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む	読	5・6	読	○	○	選	80.3	-0.4	2.1	0.7
	一(2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の空欄イに、疑問に思ったことの②に対する答えになるように考えて書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む	課題改善	5・6	関・読	○	○	記	75.0	-0.9	5.8	0.8
										50.6	-2.3	13.2	1.7
50.8										-1.5	13.9	2.0	
二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	読	5・6	読	○	○	選	86.7	-1.8	5.5	1.3	
3	一	豊職人への【インタビューの様子】の空欄アに入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	話	5・6	話	○	○	選	80.3	-1.0	4.2	0.8
	二	豊職人への【インタビューの様子】の囲み部分の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	課題改善	5・6	話	○	○	選	65.3	-2.1	5.1	0.9
										50.6	-0.5	0.6	0.1
										49.1	-1.3	8.9	1.1
三	【インタビューの様子】の空欄イに、豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	課題改善	5・6	関・話	○	○	記	64.1	-4.1	▼16.6	2.4	
									49.1	-1.3	8.9	1.1	
									29.0	-4.8	▼7.7	1.5	
四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の空欄ウに入る適切なものを選択する(習うより慣れよ)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる	伝	3・4	言	○	○	選	70.9	-2.1	8.9	1.0	

小学校・国語【課題の見られた設問の例】

1 三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の空欄に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	問題の概要・趣旨		正答率(%)	
				県	差
				28.0	-0.8

※「差」は、全国平均との差を示している。

1 はじめに
高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いている「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

2 調査の内容と結果
① 公衆電話はどのよう なときに必要なのか
多くの人がけいいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地いきの人三十人を調査の「ア」たいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが「資料2」です。
「けいいたい電話をわすれたときに必要」と「けいいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。
このことから、公衆電話は、主にけいいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

② 公衆電話にはどのよう な使い方や特ちょうがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や特ちょうがありました。
・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
・停電のときでも、硬貨を使って通話することができます。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、きん急のときに使うことができますということが分かりました。

③ 公衆電話はどのよう な場所にあるのか
「公衆電話を必要としたい使用」ことができるようにするために、はどのよう な場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思っただので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。「実際に町を歩いてまわったものが「資料3」です。
この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

3 調査の結果をもとに考えたこと
調査の結果から、公衆電話は、わたしたちらにとつて必要がなくなりました。わたわではないと考えました。なぜなら、
また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に「いかりず多くの友達に伝え、公衆電話について、かんしんをもってもらいたいと思います。」

1 高橋 めぐみ

「報告する文章」

公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

(資料3) 公衆電話の設置場所を示した地図

○(1)と(2)の両方から、分かったことについて言葉や文を取り上げて書く条件を満たして正答している本県の児童の割合は二八・〇%である。

(1)からのみ、分かったことについて書いている児童の割合(類型4)は一八・二%である。

《類型4》の解答例《公しゆう電話は、主にけいいたい電話を使うことができないときに必要とされているからです。》

(2)からのみ、分かったことについて書いている児童の割合(類型5)は六・九%おり、昨年度調査B2「給食の献立を【おすすめる文章】に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く」設問(本県正答率一〇・九%と同様、複数の内容をあげてまとめて書くことに引き続き課題が見られる。

《類型5》の解答例《けい察しよや消防しよには、こよう貨やテレホンカードがなくても通報することができるようからです。》

また、調査内容そのものを書いており、そこから分かったことと区別できない児童の割合(類型6)も九・六%にのぼり、事実と感想、意見などを区別して書くことに課題がある。

○学習指導に当たっては、事実を客観的に書く、文末表現に注意して書くなど、事実と考えとを区別して書く必要がある。

また、自分の考えを支える理由や事例を明確にすることができるようになることが必要である。その際には、調べて分かった事実から、自分の考えを支えるものとしてふさわしいものを複数取り上げ、自分の考えと関連つけて書くよう指導することが大切である。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。[]に入る内容を、次の条件に合致させて書きましょう。

条件

○「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。

○「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。

○書き出した言葉は続けて、四十文字以上、七十文字以内でまとめて書くこと。なお、書き出した言葉は字数にふくむ。

※公立の児童用紙は書き用紙なので、使ったまま使わずにそのままに書いてください。解答は、解答用紙に書きましょう。

※中から書き用紙は書き用紙として使ってください。解答は、解答用紙に書きましょう。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなりました。わたわではないと考えました。

必要がなくなりました。わたわではないと考えました。

なぜなら、

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に「いかりず多くの友達に伝え、公衆電話について、かんしんをもってもらいたいと思います。」

3三	問題の概要・趣旨 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
		64.1	-4.1	16.6	+2.4

3 岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた量職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをするにしました。次は、「広報誌の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

わが町の達人 ～第25回～
「部屋の床に畳をびたりとおさめる量職人」



店主の大谷進さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。

部屋の床にすき間も段差もなくびたりとおさめる畳を作らせたなら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにびたりとおさめることができる。

「私にとつて、畳はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

- ・大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。
- ・大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか。

【インタビューの様子】（※紙面の都合により一部省略）

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度くり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありましたが、何とか親方のようになりたいと思いつつながら、修業をしていました。

岸さん そのような思いをもっていたんですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にできたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人していますが、いまだに完べきだと思える仕上げはありませぬ。だからこそ、自分が一人前になつたと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、
またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

イ

三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビューの様子」の「イ」に入る内容を、次の条件に合わせ、書きましょう。

【インタビューの様子】

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、
またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

イ

【条件】

- 「インタビューの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

○ 本県では正答の条件を満たして解答している児童の割合は六四・一%（全国六八・二%）である。

《（類型1）の正答例》

- ・五十年も職人を続けていても、自分が一人前になつたと思わずにもっとよいものを作ろうというところがすごいと思いました。
- ↓ 岸さんの「直接聞いてみたいこと」である「大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか」という問いからインタビューの目的を捉え、この目的に即した大谷さんの発言を捉えて解答している。
- ・全て一点物で、機械を使わずに細部までくふうして一まいずつ手作業で仕上げていることが心に残りました。
- ↓ 岸さんの「直接聞いてみたいこと」である「大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか」という問いからインタビューの目的を捉え、この目的に即した大谷さんの発言を捉えて解答している。

○ 学習指導に当たっては、目的を明確にしてからインタビューに臨み、分からないことは問い返したり、相手の話につなげてさらに詳しく聞いたりするなど、話の展開に沿って話の内容を十分聞き取ることができるようになることが必要である。そして、一番聞き取ったことを中心に、自分の経験や考えと比較したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりしてまとめるように指導することが大切である。

(2) 中学校国語

① 調査区分ごとに見た傾向

平均正答率

平均正答率は、全国に比べ 0.8 ポイント低い。

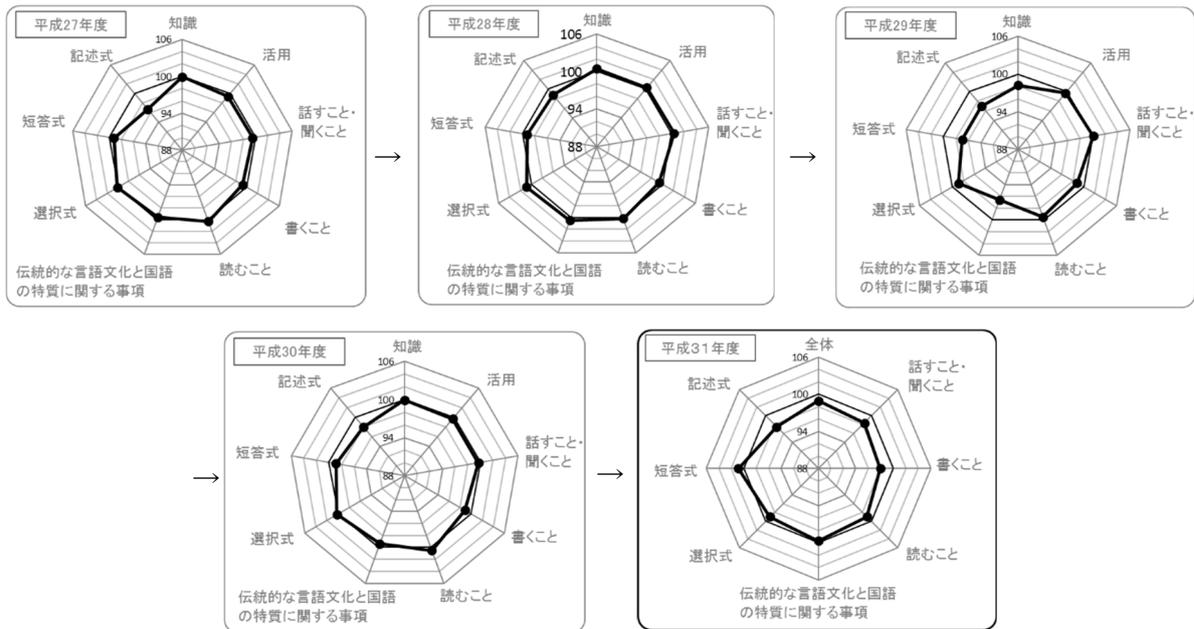
領域等

全国を 100 とした時の指数に比べ、「話すこと・聞くこと」は 1.6 ポイント低く、「書くこと」は 2.1 ポイント低く、「読むこと」は 1.0 ポイント低く、昨年度より 1.5 ポイント低下した。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は 0.3 ポイント低い。

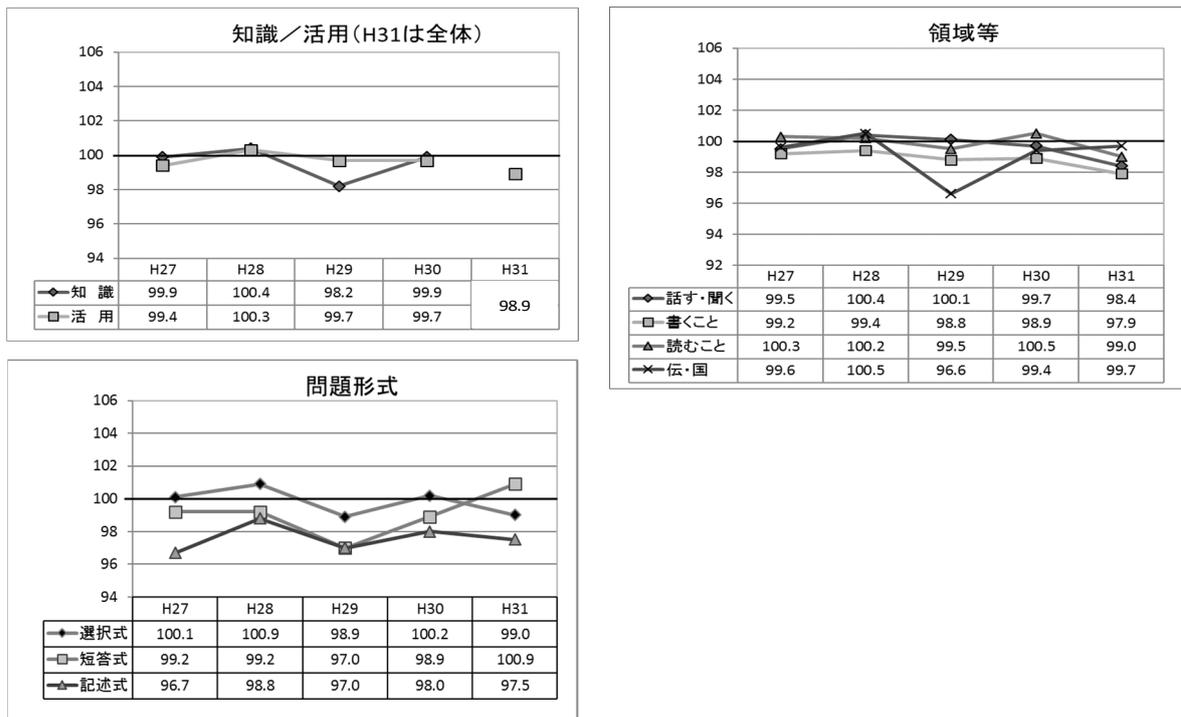
問題形式

指数では、「選択式」は 1.0 ポイント低く、「短答式」は 0.9 ポイント高く、「記述式」は 2.5 ポイント低い状況である。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、2年続けて上昇した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「書くこと」の領域が下降傾向にあり、各校の実態に応じた具体的対策を講じて改善を図るべき課題である。 ◆ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題がある。 ◆ 生徒質問紙で「国語の授業の内容はよく分かる」と肯定的に回答した生徒の割合が低く、中学校進学後に国語の学習に困難を感じている生徒の多いことがうかがえる。

話すこと 聞くこと	<p>◇ 話合いの話題や方向を捉えることは相当数の生徒が理解できている【2一】。</p> <p>◆ 相手に分かりやすく伝わる表現について理解すること【2二】、話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと【2三】(平均正答率：千葉58.7%、全国60.4%/無解答率：千葉10.7%、全国8.9%)に課題がある。</p>
書くこと	<p>◇ 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することは相当数の生徒が理解できている【3一】。</p> <p>◆ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに課題がある【3二】。</p>
読むこと	<p>◇ 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことについては、相当数の生徒ができています【1三】。書き手のものの見方や考え方に共感すること、疑問をもつこと、批判することなどを通して、新たなものの見方や考え方を発見したり、様々な視点から物事について考えられるようになっていたりするなど、読み手としてのものの見方や考え方を更に広げていくように指導することが重要である。</p> <p>◆ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題がある【1一】。自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げるように指導する必要がある。</p> <p>◆ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある【1二】。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>◇ 語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解することは、できている【4】。</p> <p>◆ 封筒の書き方を理解して書くことに課題がある【1四】。文字の大きさや配列に注意するなどして丁寧に読みやすく書くよう指導することは、社会生活に役立つ書写の能力を育むために重要である。その際、手紙の形式に込められた相手への敬意についても考えさせることが大切である。</p>
その他	<p>◇ 生徒質問紙において、【43】「国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ」と肯定的に回答した生徒の割合(千葉85.4%、全国88.0%)は前回(平成29年度)より4.5ポイント上昇している。【44】「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとする態度(千葉69.8%、全国71.6%)に一層つながっていくことが望まれる。</p> <p>◆ 【42】「国語の授業の内容はよくわかる」と肯定的に回答した生徒の割合(千葉72.8%)は全国に比べ4.8ポイント低い。本県児童(【児39】千葉83.9%)に10ポイント以上の開きがあることから、中学進学後の学習のつまずきに留意して指導する必要がある。</p>

③ 各設問の結果

(凡例)

〔出題の趣旨〕

「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題

「同一」 過去の調査と同一の問題

〔領域等〕 学習指導要領の領域等

「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと

「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

〔評価の観点〕

「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力

「書」 書く能力 「読」 読む能力

「言」 言語についての知識・理解・技能

〔問題形式〕

「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式

■ : 全国を下回るもの
 △ (良好) : 全国との差3.0ポイント以上
 ▼ (課題あり) : 全国との差3.0ポイント以上

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	〔参考〕		問題形式	正答率		無解答率		
							「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差	
1	一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ		読	2	読	○	○	選	62.7	-1.2	0.2	0.1
	二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える		読	1	読	○	○	選	61.6	0.1	0.2	0.1
	三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ		読	1	関・読		○	記	90.1	-1.1	2.1	0.4
	四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く	課題改善	伝	1	言	○	○	短	57.3	0.5	7.0	1.4
			H24 A7五							72.1	-1.6	2.8	0.1	
2	一	話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える		話	1	話	○	○	選	79.6	-0.8	0.2	0.0
	二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する		話	1	話	○	○	選	69.0	-0.7	0.3	0.0

※平成24年度は抽出調査の結果である。

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	学習学年	評価の観点	(参考)		問題形式	正答率			無解答率	
							「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差	
2	三	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	話	1	関・話		○	記	58.7	-1.7	10.7	1.8	
3	一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する	書	2	書	○	○	選	86.9	-0.5	0.5	0.1	
	二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	課題改善 書	1	関・書		○	記	74.9	-2.9	9.6	1.7	
										H28小 B2二(1)	49.9	-1.5	7.7	1.0
H28小 B2二(2)	63.1	-1.1	8.8	1.1										
4		語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する	伝	1	言	○	○	選	77.8	-0.9	1.4	0.2	

中学校・国語【課題の見られた設問の例】

1-1	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ	問題の概要・趣旨		正答率 (%)	
				県	差
				62.7	-1.2

※「差」は、全国平均との差を示している。

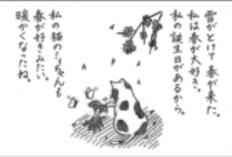
7 文化 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 全国中学生新聞

声の広場



今年こそ優勝!!
残念感動 残念その後

(中2・野球大好き)



私の好きな音楽は、春風が吹くとき、暖かいです。

(中3・こねこ)

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

「讀書より」「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつも目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔をボタン笑顔と
春風がいつもの道を駆け抜ける指の足取り自然と軽く
中一 内山 誠一
中二 森川 りか
中三 松田 花子

■投稿先
〒100-6543 東京都千代田区中央3
全国中学生新聞「声の広場」係
FAX 000-123-xxxx
メール zenkoku@xxxxxx

▼イラストははがき大。「みんなの短歌」は1通に2首まで。
▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。イラストはペンネーム可。

全国中学生新聞 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 文化 6

海外に広がる弁当の魅力



カスクルト

アメリカのボクサーランやフランスのカクテルなど、日本の弁当のように海外に持ち出されていくことのできる食事は、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれています。そのように、日本の弁当が海外の様々なアイデアで取り上げられたり、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。それぞれの身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外で話題になっているのです。

弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物までがきれいに取まっています。そのため、栄養バランスがよく、食事として、健康志向の高まりとともに、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や卵焼きの黄色などをうまく並べ、鮮やかな色合いになるように工夫された弁当を見て、「言葉で宝石箱のような、という海外の方もいます。また、様々なデザインのパッケージが好みに応じて選べることも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランス

のデパートの食器売り場でも、おしゃれでカラフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱が、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。また、誰かのために作ったり、皆で持ち寄り、和気あいあいと食べたりすることもあります。こうした、

人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを用いて、弁当の作り方やレシピについて交流する人が増えています。住んでいる場所も年齢も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいくのです。

このように、様々な魅力をもつ弁当は、世界に誇る一つながりの日本の文化の一つなのです。

次回も、「漫画」を取り上げます。

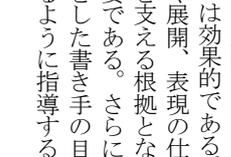
1 2 3 4 5
「弁当」



曲げわっぱの弁当

7 文化 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 全国中学生新聞

声の広場



今年こそ優勝!!
残念感動 残念その後

(中2・野球大好き)



私の好きな音楽は、春風が吹くとき、暖かいです。

(中3・こねこ)

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

「讀書より」「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつも目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔をボタン笑顔と
春風がいつもの道を駆け抜ける指の足取り自然と軽く
中一 内山 誠一
中二 森川 りか
中三 松田 花子

■投稿先
〒100-6543 東京都千代田区中央3
全国中学生新聞「声の広場」係
FAX 000-123-xxxx
メール zenkoku@xxxxxx

▼イラストははがき大。「みんなの短歌」は1通に2首まで。
▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。イラストはペンネーム可。

海外に広がる弁当の魅力



カスクルト

アメリカのボクサーランやフランスのカクテルなど、日本の弁当のように海外に持ち出されていくことのできる食事は、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれています。そのように、日本の弁当が海外の様々なアイデアで取り上げられたり、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。それぞれの身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外で話題になっているのです。

弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物までがきれいに取まっています。そのため、栄養バランスがよく、食事として、健康志向の高まりとともに、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や卵焼きの黄色などをうまく並べ、鮮やかな色合いになるように工夫された弁当を見て、「言葉で宝石箱のような、という海外の方もいます。また、様々なデザインのパッケージが好みに応じて選べることも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランス

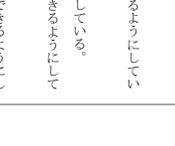
のデパートの食器売り場でも、おしゃれでカラフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱が、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。また、誰かのために作ったり、皆で持ち寄り、和気あいあいと食べたりすることもあります。こうした、

人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを用いて、弁当の作り方やレシピについて交流する人が増えています。住んでいる場所も年齢も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいくのです。

このように、様々な魅力をもつ弁当は、世界に誇る一つながりの日本の文化の一つなのです。

次回も、「漫画」を取り上げます。

1 2 3 4 5
「弁当」



曲げわっぱの弁当

○正答は2であるが、本県では1、4を選んだ生徒の割合(類型1、4)の合計が二八・六%であった。このように解答した生徒は、文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉え、そのような表現をした書き手の意図や目的を考えたり、その効果について考えたりすることに課題がある。

「日本の文化の例」が「複数」示されていることや、「外国語の辞書に載っている言葉」が示されていることを捉えることはできているが、それらの記述の効果について、「全国中学生新聞」の紙面構成に照らし合わせて検討することができていないと考えられる。

○なお、選択肢3について、一般的には、新聞記事の冒頭に要約を示す書き方もあることを学習しておくことは効果的である。

○学習指導に当たっては、文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる際に、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げるように指導することが必要である。さらに、それらを分析するだけでなく、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりするように指導することが大切である。

1 問題用紙Ⅱの【全国中学生新聞】を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 「シリーズ」再発見! 日本の文化

日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。例えば、「弁当」(bento)、「漫画」(manga)、「俳句」(haikai)、「盆栽」(bonsai)、「折り紙」(origami)は、英語やフランス語などの辞書に載っており、海外でも知られていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたってその魅力を紹介します。今回は、「弁当」を取り上げます。

2 このシリーズで取り上げる内容を示すことで、読者が今後の掲載の見通しをもつことができるようにしている。

3 「海外に広がる弁当の魅力」の記事の要約を示すことで、読者が時間をかけずに新聞を読むことができるようにしている。

4 外国語の辞書に載っている言葉を示すことで、読者が海外と日本の言葉の意味の違いに気付くことができるようにしている。

2三	問題の概要・趣旨	正答率 (%)		無解答率 (%)	
		県	差	県	差
	話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	58.7	-1.7	10.7	+1.8

場面②

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいつ感じたり、段差に気付かず驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしゃいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん

ネットにそのようなニュースが出ていますね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使いかたとしては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

山下さん

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合わないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

場面③

山下さんも気になっていたのですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

ちよっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりだと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

話し合いの一部

議題

地域とのつながりを大切にした文化祭にするために

一 生徒会が地域で行っていることについて

二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

・高齢者向けの施設での交流会の様子

・地域の清掃活動の様子

二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

倉田さん 西野さん

「生徒会が地域で行っていることについての展示」はこの二つにします。次は、「展示や発表を見に来てくださる方への配慮」について考えましょう。

2 第一中学校の生徒会役員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にした文化祭にするために」という議題で話し合っています。次は、「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(場面①から場面③は、連続した場面です。)

○話し合いをする際には、話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりしながら、常に自分の考えと比較し、考えをまとめていく必要がある。学習指導に当たっては、相手の理解の状況を踏まえ、分かりやすく伝えるように表現を工夫して話すことができるようにすることや、話し合いの中で、目的や場面に応じて設問中の各選択肢に示されたような役割を果たす発言を意識するように促すことが大切である。

平成二十四年度の授業アイデア例「対談を読む会を行う。」等も参照・活用されたい。

○正答の条件を満たして解答した生徒の割合は五八・七%で(全国六〇・四%)である。無解答率も一〇・七%と最も高い設問となっている。条件1を満たし、話し合いの流れを踏まえて「どうするか決まっていないこと」とは何かを指摘することはできているが、具体的な解決策を提示できていない生徒(類型3)は一〇・〇%である。ここでは、登場人物の発言を踏まえ、どのような課題があるのかを明確にした上で、それを解決する具体的な案を提示する必要がある。

《国教育政策研究所 平成二十四年度国語・学習状況調査「中学校」(国語B)に係る授業アイデア例「対談会」を読んで考えたことを基に座談会を行う。》

三 場面③のAで山下さんは、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話そうよに書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二行線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」とは何かを明確にして書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

4 第1時で記入したワークシートや第2時で実際に発言した内容を基に、「現代の日本語は乱れているか」というテーマでグループごとに座談会を行う。

6人グループで座談会を行います。最初に3名が5分間座談会を行ってください。残りの3名は聴衆役です。その後、役割を交替してください。

※ 相手の発言の内容を踏まえて自分の考えを述べる。

※ 直前の発言の内容に自然につながるように、言葉遣いや表現を考える。

※ 自分の考えが相手に伝わるように、詳しく説明したり、理由や根拠となる具体例などを示したりして述べる。

5 終了後、それぞれの立場から意見を述べ合う。

自分たちの座談会を振り返り、「相手の発言を踏まえて自分の考えを述べていたか」、「理由や根拠となる具体例を示していたか」という二つの観点から意見を交流しましょう。

【参考】対談での発言の内容を受ける際の話し方の例

- 共感して、具体例を出す。
「……という意見については、私もそう思います。例えば～」
- 疑問点を出して、詳しく説明する。
「……という考えについて、私は疑問に思います。それは～」
- 反対の立場に立って、理由を述べる。
「今の……という考えに私は反対です。なぜかという～」
- 話題を転換・拡張して、具体例を出す。
「今の……ということの他にもこんなことがあります。それは～」
- これまでの話の内容を整理し、まとめる。
「今まで話してきたことをまとめると、～」



国語

TYPE L

1

「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流しよう」 ～文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめ～

文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、説明的な文章を読み、文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを考えて、グループで交流する学習を提案します。それぞれの考えの根拠となる段落や部分を具体的に示しながら交流することを通して、文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる力を身に付けることを狙っています。

課題の見られた問題の概要と結果

1 情報を読む(新聞) 日本文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、井田です。」について説明したものとして適切なものを選抜する。

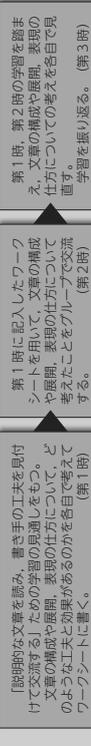
1 正答率 64.6%

学習指導要領における領域・内容

(第2学年) C 読むこと ウ

授業アイデア例

学習の流れ



(言語活動) 説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流する。

授業前の教師の準備

- 1-1 についての生徒の解答の状況を「解答類型」(平成31年度(令和元年度) 報告書 中学校 国語)に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。
 - 解答類型1、「解答類型4」の生徒
 - 文章の内容の一部を捉えることはできているが、文章の構成や展開、表現の仕方を含めて、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えた上、その効果について考えたりすることができていない。
 - 「解答類型3」の生徒

- 教材例
 - 「海外に広がる弁当の魅力」(平成31年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語II)
 - 新聞や雑誌の文章など

第1時

1 学習の見直しをもつ。



書き手は、目的や意図に応じて様々な工夫をして文章を書いています。文章の構成や展開、表現の仕方に留意して文章を読み、どのような工夫と効果があるのかを考えましょう。効果について考える際は、着目している段落や部分と、文章全体や他の部分との関係性を踏まえることが大切です。

- 2 各自で文章を読み、どのような工夫と効果があるのかを各自で考えてワークシートに書く。
 - ※ ワークシートは、着目している段落や部分に印を付したり、自分の考えを書き込んだりすることができるように、文章全体を軸にするなどの工夫をする。(P.4 (A)さんが記入したワークシートの例) 参照

第1時終了後の教師の分析

- 第1時終了後に、ワークシートの記述内容を分析する。授業前に把握した「解答類型1」、「解答類型4」や「解答類型3」に該当する生徒が、次の観点についてできているかどうかを見る。
 - 文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを考えて書いている。
 - 効果について考える際に、着目している段落や部分と、文章全体や他の部分との関係性を踏まえている。
- 第1時終了後に不十分だった生徒については、第2時の交流の様子を観察し、どの段落や部分に着目しているのかを明らかにさせたり、文章全体や他の部分との関係性を踏まえてその効果を考えさせたりするなど、必要に応じて指導する。

授業アイデア例

第2時

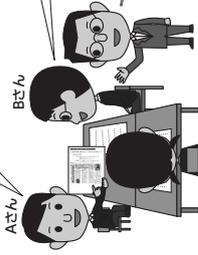
- 3 2で記入したワークシートを用いて、文章の構成や展開、表現の仕方について考えたことをグループで交流する。



前の時間に記入したワークシートを用いて、それぞれが着目している段落や部分を具体的に示しながら、どのような工夫と効果があるのかを交流しましょう。

「海外に広がる弁当の魅力」について交流している場面の例

紙面の右上の種の部分には、海外に知られている日本の文化のことが簡潔な文章で示されています。この記事でどのような日本の文化を取り上げるのかを分かっていくことができます。



Aさん
Aさんが着目した種の中にある「本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたって、その魅力を紹介します。」という部分は、紙面の最後にある「次回」は、「漫画」を取り上げます。」という部分と関係があると推測できます。

Bさん
Bさん、よい点に着目していますね。その関係からどのようなことが推測できますか。

交流の仕方についての工夫の例

- プロジェクターや実物投影机などのICT機器を用いて移動黒板などに文章全体を映し出したり、文章全体を拡大して印刷した紙を移動黒板などに貼ったりして、その場で印を付たり言葉を書き込んだりしながら、交流することも考えられる。



第3時

- 4 3で交流した内容を踏まえ、文章の構成や展開、表現の仕方についての考えを各自で見直し、必要に応じてワークシートに書く。

(Aさんが記入したワークシートの例)



※ 3で交流した内容を踏まえ、Aさんが書き加えた部分。

本授業アイデア例 活用のポイント!

- 本授業アイデア例に示した教材の他にも、教科書に掲載されている説明的な文章や、学校図書館にある説明的な文章などを必要に応じて取り上げるとよい。
- 本授業アイデア例の学習の流れを参考に、第1学年「C 読むこと」(1)イについて授業を展開することも考えられる。

参照▶ 「平成31年度(令和元年度) 報告書 中学校 国語」P.20～P.34、「平成31年度 解説資料 中学校 国語」P.12～P.23